

目次

自由*空間	おおさか健活マイレージアスマイルに参加して !! 「 ^{こぞ} 鴻和カフェ」六周年を迎えて	… P2
私のおすすめ児童書	『風の星』	… P2
私のおすすめ	『本好きの下克上』	… P3
図書館からのお知らせ		… P4

盛況だったビブリオバトル チャンプ本に、—『いるのいないの』—

泉鳥取高校 学校司書 福井 貴子

三月二十六日に行われた、今年度最後の「ビブリオバトルinイストリア」は、泉鳥取高校生三名、教員一名と大学生一名、そして阪南市にお住いの成人の方一名、小学生と中学生が各一名の幅広い年齢層のバトラーに市民の観戦者の方がたくさん来てくださり賑やかに行われました。

チャンプ本に輝いたのは、『いるのいないの』京極夏彦著で泉鳥取高校生が発表した本でしたが、皆さんが、それぞれ思いの工夫を凝らした熱いバトルでした。

特に、小・中学生の発表が素晴らしく、表情や、話し方その雰囲気図書館全体がのまれ、五分はとくに過ぎてしまいタイムアウトでしたが、構わず最後まで発表して頂きました。

今回は嬉しいことに、観戦者の中にも小学生が来てくださり、次はバトラーで参加してくれるのを期待しつつ終えました。

ビブリオバトルは、いつでもどこでも本好きが二人いれば出来ます。大人も子どもも関係なく、この本こんなに面白いって、言い合っているだけの楽しい遊びです。まずは、子どもたちのピュアでキラキラの本への想いを聞きにいらしてください。次回は夏休み開催予定です。

ビブリオバトルに参加して

橋本 一郎

三月二十六日に行われた、「ビブリオバトルinイストリア」に、参加しました。

活字離れが問題視され、出版界の危機が叫ばれている今日この頃です。パソコンやスマホで、本を読める時代ですが、紙に印刷された本を愛する人もまだまだ健在だと、勇気をもらいました。

一緒に参加した中学生が、「本好きの人に会えて嬉しかった」と言っておりまして、本当にその通りだと思いました。

大学生や高校生の発表は、さすがと感心しました。

今回初めての参加でしたが、次回も、頑張ろうと思っています。また、気軽な、読書会のようなものとなっていけばいいなあと思いました。中学生と、次回も参加することを約束しました。



編集部注 ビブリオバトルとは、みんなで集まって五分で本を紹介。そして、読みたくなった本(11チャンプ本)を投票して決定する書評会です。

に参加して !!

大阪府が実施している、おおさか健活マイレージアスマイルという活動は、府民の健康活動をサポートするためスマートフォンアプリで日々の健康活動を記録することにより、ポイントが貯まり電子マネーなどの特典を獲得できるものです。スマホにアプリをダウンロードして会員登録をし、毎日の健康活動を記録しポイントを獲得そして毎週一回と、毎月一回抽選

権利を獲得する。毎週はローソンのコーヒー又はスムージーで毎月電子マネーやクオカード三千円分です。わたしはこの活動に二月より参加しウォーキング達成や身長、体重、睡眠時間、朝食有無、歯磨き等を欠かさず記録して毎日六〇〇ポイント確保し抽選しており、今まで一週間分は三回と一か月分は一回当たっております。目的は健康活動で景品やポイントは



平成二十六年七月に自治会員の親睦の為に皆が集まる場所を作ろうということになり、当時の自治会役員と有志が集まり「鴻和カフェ」をオープンさせた。メンバーは素人ばかりで何から始めたら良いものかと試行錯誤を重ね、無事八月第四日曜日にオープンさせた。飲み物とお菓子で一〇〇円と価格を決め、まず会員にお客様として来て頂くのが重要なので、全世帯にチラシのポスティングを実施し、無料券を添付し、来て頂くという方法を取った。その結果最

初としては上々の九十一名の来店があり、そのうち無料券の使用が七十名あった。その次の来店促進策として、イベントを開催した(音楽演奏、手作り作品の展示、各種手作りクラフトの体験会)。特に音楽演奏会は人気で座席はいつも満席で廊下にもテーブルを設置するほどだ。又、次の策はポイントカードを採用し五個捺印すると、一杯無料という二割引サービスを実施した。また夏休みには子供たちにはチューペットの配布サービスをして好評を得た。現在もこれらのサービスは継続中。五年過ぎてもお客様の来店数は五十名から七十名を推移している。

又新たに第二水曜日にモーニングも開始し、パン、卵、飲み物を二百円で提供している。
第二水曜日午前七時半から十二時と第四日曜日は午前十時〜午後三時と営業しておりますのでどうぞお茶を飲みにご来店ください。
こうわ 鴻和住民センター内
こうわ 鴻和カフェ「集い」スタッフ

私のおすすめ 《児童書》

『風の星』 新宮 普 / 福音館書店



『風の星』は私たちの住む星・地球を風になって飛び、旅して回るお話です。海の上、山の上、人や動物たちの上を、読者もまるで風になって旅しているように軽々いきいき自然現象を体感していきます。作者・新宮 普は実は彫刻家。風や水で動いたり、光を巧みに取り入れたり...作品には自然と一つになったような特徴があり「空気の専門家」の異名を持ちます。造形作家・絵本作家としての

活動以外にも、地球のすばらしさや大切さを表現する企画「ウインドキャラバン」等にも取り組み、『風の星』はその時の体験から生まれた作品です。他に『旅する蝶』『いちご』（共に文化出版局）、『じんべいざめ』（扶桑社）等がありますが、どれも素直な眼線で、しかも丁寧に自然を観察・探求していて、作者の地球という星への愛があふれています。

稲田 郁代

最初、目にとまったのが本の表紙です。「表紙かわいいなあ」「中身も気になるなあ」そんな風に思いながら読み始めたこのお話は、本を読んでいた気付かずに道路に出してしまうほど本が大好きで、たっぴり本に囲まれ、どっぴりと読書にはまって生きてきた主人公、麗乃（うらの）が地震で自宅の書庫にある本に押しつぶされ、一転、本が身近になく病弱な女の子のマインとして生きていくことになったというお話です。

本がないなら買えばいい。だけど兵士の娘であるマインには高価すぎる。ならば、本を作ってしまうおう。

しかし、本を作るにしても紙もなく、お金や体力、年齢、体格が足りないなど、ないない尽くしの中で、あるのは麗乃時代の知識のみ。その知識と引きかえに、協力者を増やしていく、憧れの大学図書館の司書になる寸前に死んでしまった無念を晴らし、本に囲まれて生きる！という野望を叶えるために暴走します。本のためならば脇目もふらないマインの暴走ぶりが面白いのです。

このシリーズは今も続いています。



もちろん一番最初から読んだ方がいいのですが私の一番面白いと思ったところは、第一部の一卷と二巻の紙を作り始める所です。

最初は、紙を作る道具もなく、その道具を作ろうにも釘一つ確保するのも大変だったり、作った道具の木と木の間に隙間ができてしまうこと

や、紙の原料になる木や、その木のある場所が分からないなどのトラブルがたくさんあったのですが、商会の商人に職人を紹介してもらって、お金をだしてもらったり、紙の原料の木を教えてもらったりして紙を作り始めることができました。その試行錯誤しているところがおもしろいです。

です。

私は、主人公と共感できるころがあります。それは、本好きというところでは、最初に言った「本を読んでいた気づかずに道路に飛び出す」

は、私もやっているなあと思います。本を読みながら歩くなどの「ながら読み」は、本が好きな人なら一度はやったことがあるんじゃないかなあ

と勝手ながら思っています。その他にも「すごいなあ」と思っている所があります。

一つ目は、大学図書館です。大学図書館に就職できるなんて羨ましくないですか？大学図書館で働くためだけに勉強を頑張るってすごくないですか？私にはそんなことできません。

二つ目は、発想力と記憶力です。マインは、本が絡むとすごい発想力や記憶力を発揮するんです。記憶力がテストに使えたら少しでも楽だろうになあと思います。

三つ目は、書庫です。私の夢みたいなものですが、一回、書庫でたくさん本に囲まれて生活してみたいです。書庫というより、書庫が必要

なほどの本が欲しいのです。話がす

こし横道にそれてしまいましたが、マインの好きなのところは、あきらめずに最後まで努力してそれをやりとげるところです。本という目標があるからかもしれないですが、それでも言ったことは最後までできちんとやり遂げると言うところは見習いたいと思います。でも、マインが本づくりを続けられると言うのは、本人の努力ももちろんあるんですけど、マインの両親、お姉ちゃん、マインのおかげで商人を目指すことができるようになったルッツという少年などのサポート

や、マインの発想力を買った商人、マインのお父さんの職場の後輩などの手助けがあって、ということもあるかもしれないと思います。

私が今まで読んだ本で、一番、共感できて、おもしろいところがたくさんあって、続きが気になったのが、この、「本好きの下剋上」というシリーズです。このシリーズは、今も続きがどんどん出ていて、今、結構人気な本です。まあ、とりあえず面白い本なので、ぜひ、読んでみてください。

声辺 煌（あきら）

2019年
6月

泉南地域図書館(室)の 相互利用が始まりました

阪南市にお住いの皆さんも、泉南地域の図書館(室)で本などを借りることができるようになりました。

本を借りるには、利用したい市町の図書館(室)が発行する「貸出券」(貸出カード)が必要です。住所と氏名の確認できるもの〔運転免許証、健康保険証など〕をお持ちになって、各図書館でお申込みください。

図書館名	電話番号	利用条件
岸和田市立 図書館	(072) 422-2142	図書・雑誌 15冊まで、視聴覚資料 5点まで 3週間借りられます。 所蔵の資料のみ15点まで予約できます。
貝塚市民 図書館	(072) 433-7200	図書・雑誌 10冊まで、CD 2点まで 2週間借りられます。 所蔵の資料のみ20点まで予約できます。
泉佐野市立 図書館	(072) 469-7130	10点まで、うち視聴覚資料は3点まで(ただしDVDは1点以内) 3週間借りられます。 ▼予約はできません。
泉南市立 図書館	(072) 482-7766	図書・雑誌 10冊まで、CD・DVDなど 10点まで 2週間借りられます。 ▼予約はできません。
阪南市立 図書館	(072) 471-9000	図書・雑誌 5冊まで、CD 3点まで 2週間借りられます。 ▼予約はできません。
熊取町立 熊取図書館	(072) 451-2828	図書・雑誌 5冊まで(うち雑誌は3冊まで) 3週間借りられます。CD・DVD 3点まで 1週間借りられます。 ▼予約はできません。一部貸出できない資料があります。
田尻町立公民 館図書室	(072) 466-0030	図書 5冊まで 2週間借りられます。 ▼予約はできません。
岬町立淡輪公 民館図書室	(072) 494-0300	図書 4冊まで 2週間借りられます。 ▼予約はできません。

☆利用条件は、各図書館(室)で異なります。ご利用になる図書館(室)でご確認ください。

☆借りられた資料は、必ず借りた市町の図書館(室)へお返しください。

☆お問い合わせは、ご利用になりたい図書館(室)へお願いします。

2018
年度

図書館フレンズ活動報告

ありがとう
ございます。



2018年度の活動人数は、配架1,427名、書庫入れ作業360名、図書整備518名、館内装飾60名、広報49名、生け花等環境整備61名、ブックスタート60名、おはなしでてこい24名、はじまりはじまり♪紙芝居93名、計2,652名でした。大勢の皆様にご参加いただきまして、図書館員一同感謝しております。